

一般社団法人

福島県医師会

FUKUSHIMA MEDICAL ASSOCIATION



福島県医師会における 女性医師支援活動報告

福島県医師会 常任理事

男女共同参画・医師支援委員会委員長

新 妻 和 雄

平成29・30年度の主な活動

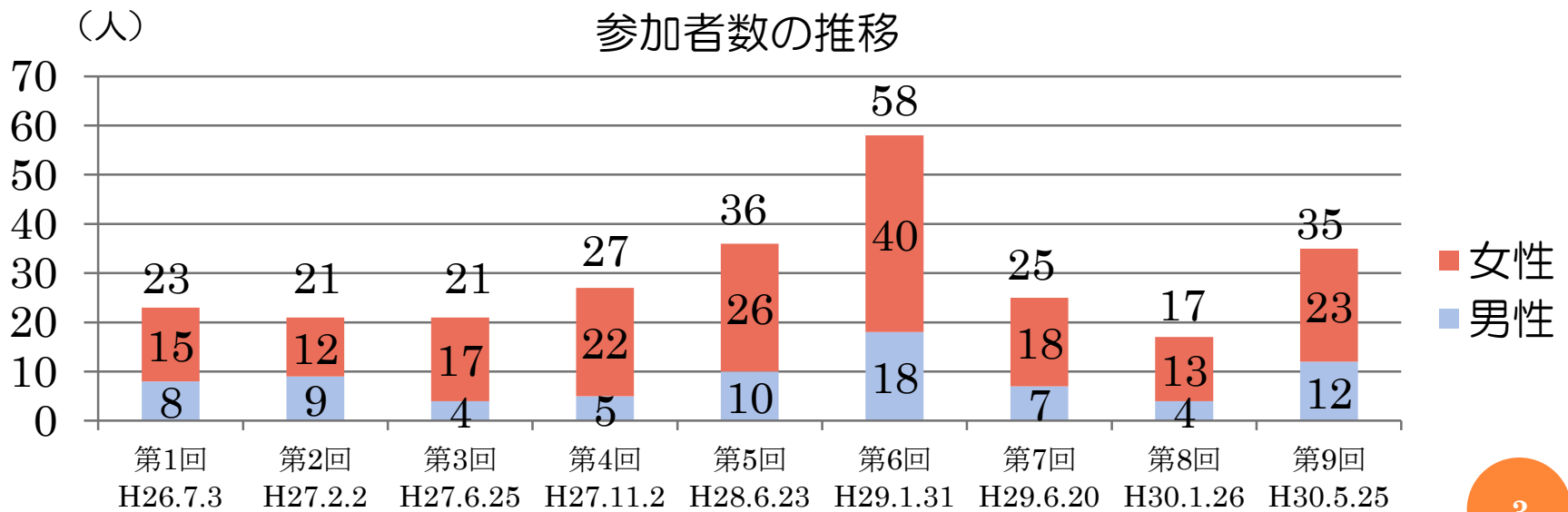
- ① 「FMU キャリアサポート交流会—未来の“私”を考えよう—」開催
- ② 「女性医師の勤務環境に関するアンケート」の作成
- ③ 「福島県医師会イクボス宣言」の作成・配付
- ④ 「ふくしま女性活躍応援会議」への参画

①FMU キャリアサポート交流会

—未来の“私”を考えよう—

(日本医師会「医学生、研修医等をサポートするための会」事業)

- 日本医師会、福島県立医科大学 男女共同参画支援室との共催により平成26年度より開催している。
- 年2回の開催(平成29年度は6月20日、1月26日
平成30年度は5月25日、平成31年1月開催予定)



○ 平成29年6月20日（木）開催

場所：福島県立医科大学8号館（旧看護学部棟）

3階 S308・309

○ ①開会挨拶

福島県医師会 常任理事 新妻 和雄

○ ②発表「福島県立医科大学男女共同参画支援室の取組」

福島県立医科大学男女共同参画支援室長

小宮 ひろみ 先生

○ ③講演「糖尿病看護認定看護師への道」

福島県立医科大学附属病院 糖内代謝科腎臓高血圧内科外来

河野 さおり 先生

○ ④発表「会津医療センター消化器内科学講座における男女共同参画：

『特別なことはせず、ふつうに・・・』」

福島県立医科大学会津医療センター 消化器内科学講座

教授 入澤 篤志 先生

○ 平成30年1月26日（金）開催

場所：福島県立医科大学8号館（旧看護学部棟） 1階 S101

○ ①開会挨拶

福島県医師会 常任理事 新妻 和雄

○ ②発表1 「本学男女共同参画支援室からの現状報告と今後の展望」

福島県立医科大学男女共同参画支援室長

小宮 ひろみ 先生

○ ③発表2 「矯正医療と女性医師」

法務省福島刑務支所 医務課長

山口 晶子 先生

○ ④講演「あなたにもできるキャリアアップ！

—私自身の経験と若手医師の支援を通じて考えたこと—

東京医科大学 医師・学生・研究者支援センター

センター長・教授 大久保 ゆかり 先生

○ 平成30年5月25日（金）開催

場所：福島県立医科大学8号館（旧看護学部棟） 1階 S101

○ ①開会挨拶

福島県医師会 常任理事 新妻 和雄

○ ②講演1 「医療者のためのアンガーマネジメント入門」

秋田大学医学部総合地域医療推進学講座

准教授 蓮沼 直子 先生

○ ③講演2 「チーム医療でその人らしい生き方を支える

～福島医大植込型補助人工心臓チームの取組み～」

福島県立附属病院看護学部 きぼう棟外来

看護学臨床准教授 東雲 紀子 先生

○ ④学生による発表 「福島の子育てサポート～仕事と子育ての両立」

医学部4年 前田 都秋 さん

②「女性医師の勤務環境に関するアンケート」の作成

- 実施予定内容

（目的）福島県内の子育て世代の医師の勤務実態や、どのような支援を求めているかを把握し、福島県医師会としての医師支援活動に反映させる。

（対象）福島県内の病院に勤務する医師

（調査内容）育児中の医師の勤務実態、利用しているサービスなど。

③ 「福島県医師会イクボス宣言」の作成・配付

イクボス宣言

私は、よりよい医療の充実のために、自らも仕事と私生活を楽しむ「イクボス」となることを宣言します。

1. 医師が安心して出産や子育て、介護ができるよう育児休業や介護休暇などを取得しやすい環境の整備につとめます
2. 医師のワーク・ライフ・バランスを考えながら、自らも率先して仕事と生活の充実に取り組みます
3. イクボスを増やすため、その働きかけを積極的に行い、自己実現にむけて医師一人ひとりのキャリアと人生を応援します

平成 年 月 日

医療機関名 _____
役 職 _____
氏 名 _____

一般社団法人 福島県医師会

○ 秋田県医師会にならい、当会もイクボス宣言を作成した。

○ 下記の研修会において配付。

①H29.11.25 勤務医フォーラム

②H29.12.9

③H29.12.16

④H30.1.20

医療機関の勤務環境
改善研修会

参加者 約300名に配付した。

④ 「ふくしま女性活躍応援会議」への参画

- ふくしま女性活躍応援会議とは
福島県にとって喫緊の課題である復興と地域創生を実現するために、県内各種団体が連携・協力し、女性が活躍できる環境づくりを進めることを目的とする会議。
- 参画団体
国、県、市町村、経済、農林水産、医療福祉、建設、教育等の様々な分野の団体
- 施策の方向性
 - ① トップの意識改革
 - ② 女性人材の育成・登用の推進
 - ③ ワーク・ライフ・バランスの推進

ご清聴ありがとうございました。



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.